

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社 信州シキシマ							
代表者名	氏名	永田 浩久		役職名	代表取締役社長			
主たる事務所の所在地	長野県松本市大字笹賀5670番地2							
主たる事業の分類	大分類	E 製造業						
	中分類	0971 パン製造業						
主たる事業の概要	食パン、菓子パン製造							
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者						
原油換算エネルギー使用量	2581	kl	その他ガス排出量合計	0	t-CO ₂	自動車の台数	1	台

2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	26	年度	～	28	年度	報告対象年度	28	年度
------	----	----	---	----	----	--------	----	----

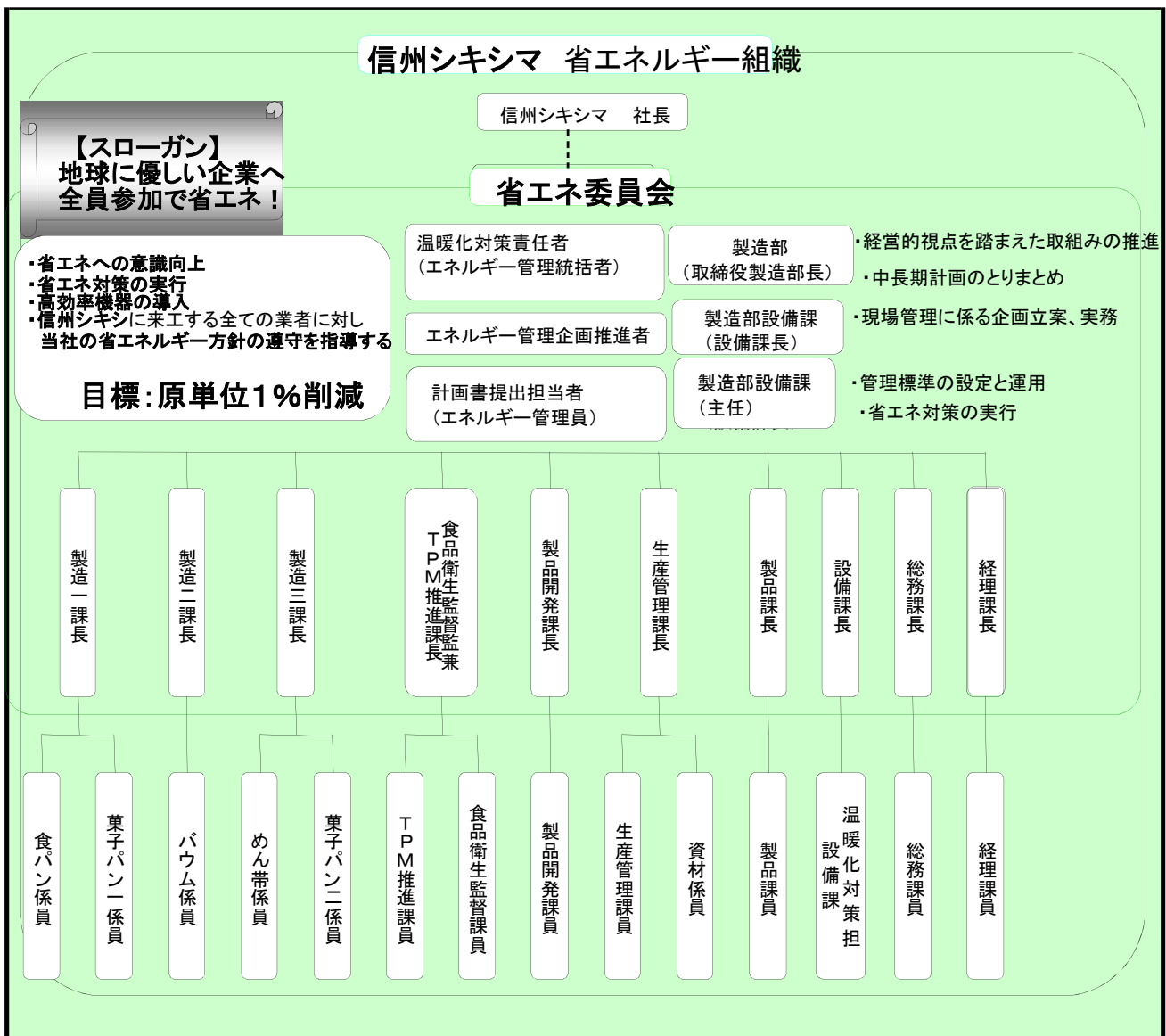
3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	(株)信州シキシマ TEL0263-26-2939 担当 設備課 時間9:00～18:00
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

使用電力の削減
燃焼設備の合理化

5 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	5,723	t-CO ₂	生産袋数	1,674	単位	百袋	
25年度	調整後排出量	4,962	t-CO ₂	基準原単位	3.42	t-CO ₂ /	百袋	
目標年度	目標排出量	5,551	t-CO ₂	目標原単位	3.31	t-CO ₂ /	百袋	寄与度の合計から求めた目標削減率※
28年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.21	%		
目標設定に関する説明	今年度より、ピークカットの取り組みを重点的に行う。設備の保全管理の適正設定等を行う。							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	5,184	t-CO ₂	生産袋数	1,672	単位	百袋	
	調整後排出量	5,164	t-CO ₂	原単位	3.10	t-CO ₂ /	百袋	寄与度の合計から求めた目標削減率※
26年度	削減率	9.41	%	削減率	9.35	%		
排出量等の増減理由	製造ラインでの積極的なスイッチオフ活動 省エネ機器への設備更新 インバーター取り付けなどの電力削減							
第二年度	排出量	5,080	t-CO ₂	生産袋数	1,526.00	単位	百袋	
	調整後排出量	5,065	t-CO ₂	原単位	3.33	t-CO ₂ /	百袋	寄与度の合計から求めた目標削減率※
27年度	削減率	11.23	%	削減率	2.63	%		
排出量等の増減理由	製造ラインでの積極的なスイッチオフ活動 省エネ機器への設備更新 インバーター取り付けなどの電力削減							
第三年度	排出量	5,182	t-CO ₂	生産袋数	1,623.00	単位	百袋	
	調整後排出量	5,162	t-CO ₂	原単位	3.19	t-CO ₂ /	百袋	寄与度の合計から求めた目標削減率※
28年度	削減率	9.45	%	削減率	6.72	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	製造ラインの効率化 ボイラー台数制御導入 ボイラー更新 インバーター取り付けなどの電力削減							

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位		
25年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	2.45	t-CO ₂			
25年度						
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量		t-CO ₂	削減率		%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量		t-CO ₂	削減率		%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量		t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		実績	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	330201GHPの更新	H27	40	H27~28	15
2	エネ起	330208空調室外機の保全管理	H27	10		
3	エネ起	360799コンプレッサーの更新	H27	10	H26	10
4	エネ起	320104燃焼設備の保全管理	H27	10		
5	エネ起	380752高輝度放電ランプ等効率の高いランプの導入	H28	10		
6	エネ起	320205ボイラー負荷管理及び効率管理	H26	10	H26~28	10
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	761		20	15	20
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出状況 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	1	5,723	1	5,184	1	5,080	1	5,182
1,500k1未満								
合計	1	5,723	1	5,184	1	5,080	1	5,182

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出状況 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
合計				

1.3 次世代車使用台数及び導入計画 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他				
合計				
自動車総数	1	1		1
次世代車導入割合				

様式1号
(総括票)

1.4 中小企業支援

区分	内容
中小企業への省エネ診断	なし
その他	

1.5 交通対策

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	マイカー通勤率の把握 (100%)
公共交通機関の利用促進	該当なし
来客者の交通対策	該当なし
物流の合理化	配送車から荷物を搬入出する際はアイドリングをストップし排気ガスによるCO2削減を実施している。

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1		
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	会社全体での省エネ啓発活動
第一年度実績	設備更新にて、省エネ機器の導入・会社全体での省エネ啓発活動
第二年度実績	会社全体での省エネ啓発活動・燃焼設備の合理化の実施
第三年度実績	会社全体での省エネ啓発活動

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量 (tCO ₂)
基準年度以前の取組み	電動機等の負荷を抑える為、インバータの設置を行ってきた。	100
その他		